

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2022年度第1回事業普及委員会議事録

- I. 日 時： 令和4年4月11日（月）18:00～20:00
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoomによるオンライン会議）
- II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員(すべてネット出席)
(事務局：井端事務局長、中村)
- III. 検討内容

コロナ感染防止のため引き続き、ネットによる委員会として開催した。

1. 2022年度機関誌 No.1（6月号）の企画について

① 巻頭言は、日本医科大学の弦間昭彦学長に依頼することにした。

② ニューノーマルな教育として対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド型授業が普及しつつあり、全て対面で授業しなくても、遠隔・オンライン授業を効果的に導入することで、学修効果の向上や、学修者一人ひとりの能力の伸長が期待できるようになってきたが、他方、学びの質保証の観点から、遠隔・オンライン授業による学修評価の方法と測定の方法について、教員一人ひとりが授業形態に応じて評価の客観性を限りなく確保する中で、適切な学修評価を行えることが望まれている。そこで、特集は、「オンライン授業の学修評価と試験方法」とすることにし、学修者本位の教育の実現と学びの質向上に向けてオンライン授業の学修評価とその試験方法の在り方について考える場とした。

掲載依頼原稿は、以下の通りとし、依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・「オンライン授業による評価をどう考え、実施するか、～実践事例の紹介～」(仮題)
関西大学 教育推進部教授 山田剛史 氏
- ・「LMS依存の試験とアンケートフォーム型試験への挑戦」(仮題)
専修大学経済学部准教授 小川 健 氏
- ・「オンラインでの不正防止対策の取組みと展望」(仮題)
関西学院大学副学長 巳波弘佳 氏

③「数理・データサイエンス・AI教育の紹介」として、文科省が「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定した大学の中から、「先導的で独自の工夫・特色を有するもの」として「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に選定した10大学の取組みを2022年度 No.1 から No.3 の3号に亘って紹介することにした。

No.1では、『数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス』選定校における教育実践取組みの紹介(その1)」として以下依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・滋賀大学：
滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム
- ・東北大学：
AIMDの基礎／挑創カレッジコンピュテーショナルデータサイエンスプログラム(CDS)
- ・九州大学：
低年次データサイエンス教育
- ・久留米工業大学：
地域課題解決型AI教育プログラム（リテラシー）

なお、No.2、No.3については以下に依頼する予定であることを確認した。

- ・北海道大学
- ・筑波大学
- ・千葉大学
- ・山陽小野田市立山口東京理科大学
- ・北海道医療大学
- ・金沢工業大学

④「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。

- ・2022年度事業計画
- ・役員・各種委員会委員等
- ・2022年度行事日程・加盟校の特典

⑤ 「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。

- ・産学連携事業
(産学連携人材ニーズ交流会／学生による社会スタディ/大学教員による企業現場研修)
- ・大学職員情報化研究講習会 (ICT活用コース)
- ・FDのための情報技術研究講習会報告
- ・大学情報セキュリティ研究講習会

⑥ 「募集」は、以下を掲載することを確認した。

- ・ICT利用による教育改善研究発表会開催要項
- ・教育事例等コンテンツオンデマンド配信案内

2. その他 (次回の日程について)

今回は2022年度No.1(6月号)の原稿の確認を中心に検討することとし、開催日時は、6月7日(火)18時より、引き続きネット(ZOOM会議)にて開催することとした。